

2024 年度

大阪大学大学院工学研究科

博士前期課程 学生募集要項

< 2024 年 4 月入学 >

※ 在留資格が「留学」である外国人留学生は、出願できません。

International students with “Student” resident status are
not eligible to apply for this entrance examination.

2023 年 3 月

目 次

【工学研究科アドミッション・ポリシー】

| | |
|---|----|
| 1. 募集人員 | 1 |
| 2. 出願専攻・コースについて | 2 |
| 3. 出願資格 | 6 |
| 4. 出願資格審査 | 7 |
| 5. 出願手続 | 8 |
| 6. 検定料 | 8 |
| 7. 出願書類 | 12 |
| 8. 入学者選抜 | 14 |
| 9. 合格者発表 | 16 |
| 10. 入試成績の開示について | 16 |
| 11. 入学料及び授業料・入学手続 | 17 |
| 12. 過去問題、試験内容、研究内容等に関する問合せ先（各専攻連絡先） | 18 |
| 13. 個人情報の取扱いについて | 19 |
| 14. 注意事項 | 19 |
| 15. 筆記試験科目 | 20 |

本募集要項の掲載内容に変更がある場合は、本研究科ホームページの大学院入試情報
(https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g_admissions/) において随時公表します。

【工学研究科アドミッション・ポリシー】

工学研究科では、自然と人類との調和を図り、真の豊かさを持つ安心及び安全な社会の実現を目指し、真理の探究と社会に貢献するモノづくりを通じて科学技術立国としての未来の発展に資することを使命とし、それに応えることのできる創造性豊かなリーダーとなる工学研究者・技術者の育成を図ることを目的としています。

<博士前期課程>

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、工学研究科では、人類社会の持続的発展のために独創的な科学技術の進歩に貢献し、高い倫理観を持ってその恩恵を国際社会に還元したいという強い意欲と向上心に溢れ、次のような資質を持つ人を求めています。

- (1) 専攻分野における基礎的・専門的な知識並びに技能
- (2) 主体的に問題に取り組み、課題解決のために論理的な考察を行う能力
- (3) 自らの考えを的確に伝えるための表現力や討論する能力
- (4) グローバルなコミュニケーションに必要な英語力

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を求めるために、一般選抜、学部3年次学生を対象とする特別選抜、推薦入学特別選抜、留学生を対象とした外国人留学生特別選抜及び英語による学位取得コースの入学試験を設けています。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜及び学部3年次学生を対象とする特別選抜においては、学力試験（筆記試験及び口頭試問）の成績及び出願書類の選考結果を総合して（1）～（4）の能力を評価します。
2. 推薦入学特別選抜においては、研究能力に特に秀でた学生を国内外から広く受け入れ、優れた研究者・技術者を育成するために、学力試験の成績及び出願書類の選考結果を総合して（1）～（4）の能力を評価します。
3. 留学生を対象とした外国人留学生特別選抜及び英語による学位取得コースの選抜においては、研究能力に特に秀でた学生を国内外から広く受け入れ、優れた研究者・技術者を育成するために、学力試験の成績や出願書類の選考結果を総合して（1）～（4）の能力を評価します。

1. 募集人員

| 専攻 | コース | 募集人員 |
|----------------|--------------------------|------|
| 生物工学専攻 | 生物工学コース | 63 |
| | 産学官共創コース | |
| 応用化学専攻 | 分子創成化学コース | 97 |
| | 物質機能化学コース | |
| | 産学官共創コース | |
| 物理学系専攻 | 精密工学コース | 72 |
| | 応用物理学コース | |
| | 産学官共創コース | |
| 機械工学専攻 | 機械工学コース | 96 |
| | 産学官共創コース | |
| マテリアル生産科学専攻 | マテリアル科学コース | 118 |
| | 生産科学コース | |
| | 産学官共創コース | |
| 電気電子情報通信工学専攻 | 電気工学コース | 141 |
| | 情報通信工学コース | |
| | 量子情報エレクトロニクスコース | |
| | イノベーションデザインコース（産学官共創コース） | |
| 環境エネルギー工学専攻 | 環境工学コース | 82 |
| | エネルギー量子工学コース | |
| | 産学官共創コース | |
| 地球総合工学専攻 | 船舶海洋工学コース | 104 |
| | 社会基盤工学コース | |
| | 建築工学コース | |
| | 産学官共創コース | |
| ビジネスエンジニアリング専攻 | ビジネスエンジニアリングコース | 38 |
| | 産学官共創コース | |
| 合計 | | 811 |

(注1) 募集人員には、別途実施される「推薦入学特別選抜」、「学部3年次学生を対象とする特別選抜」、「外国人留学生特別選抜」、「英語による学位取得コース」による募集人員も含まれます。

(注2) 産学官共創コースを志望する場合、出願前に、コースのホームページを確認し、産学官共創講座事務局に連絡を取ってください。電気電子情報通信工学専攻イノベーションデザインコース（産学官共創コース）の志願者は、出願前に志望する研究室に連絡を取ってください。

(注3) 応用化学専攻、物理学系専攻応用物理学コースの志願者は、出願前に、必ず、以下のホームページに掲載されている詳細な注意事項を確認してください。

応用化学専攻 URL : <https://www.applchem.eng.osaka-u.ac.jp/admission/>

物理学系専攻応用物理学コース URL : <http://www.ap.eng.osaka-u.ac.jp/graduate/>

(注4) 物理学系専攻精密工学コースを志望する場合には、本学工学部応用自然科学科物理工学科目在籍者以外の者は、出願前に指導を希望する研究室の担当教員と入学後の研究テーマについて相談してください。複数の研究室の教員と相談可能です。詳細は、次のホームページを参照してください。

精密工学コース URL : <http://www.prec.eng.osaka-u.ac.jp/>

2. 出願専攻・コースについて

(1) 応用化学専攻以外の各専攻はコース単位で募集を行うので、出願書類の志望専攻・コース名欄に専攻・コース名を記入してください。

※応用化学専攻は専攻単位で募集を行うので、出願書類には志望専攻のみ記入してください。ただし、応用化学専攻/産学官共創コースを志望する場合は以下 (2) ③の通り記入してください。

(2) 産学官共創コースの志願について

① ビジネスエンジニアリング専攻の場合

産学官共創コースを第1志望とする場合、表1(P.5)を参照し、第2志望まで願書に記入してください。産学官共創コースを第2志望とする場合、第1志望はビジネスエンジニアリングコースとしてください。

② 電気電子情報通信工学専攻の場合

イノベーションデザインコース(産学官共創コース)の志願者は、必ずイノベーションデザインコースを第1志望とし、かつ入学願書の「受験選択科目」欄に、入学後に配属を希望する研究室が所属するコース名を記入してください。第2志望以下は、「受験選択科目」欄に記載した以外の電気電子情報通信工学専攻内の他コースを記入することができます。

③ 応用化学専攻の場合

産学官共創コースの志願者は、願書の(第1志望)欄に「応用化学専攻/産学官共創コース」と記入し、第2志望以下は記入しないでください。ただし、選抜の結果、応用化学専攻/分子創成化学コースまたは物質機能化学コースに配属されることがあります。

④ 上記①～③以外の専攻の場合

産学官共創コースの志願者は、必ず産学官共創コースを第1志望とし、かつ入学後に配属を希望する研究室が所属するコースを第2志望に記入してください。産学官共創コースのみの志願は受け付けできません。

【産学官共創コースについて】(※電気電子情報通信工学専攻は除く)

産学官共創コースとは、工学研究科と共同研究講座(※1)/協働研究所(※2)等が協力し、これまでの大学院教育に産学官共同研究活動(インターンシップ・オン・キャンパス)を取り入れ、大学院生が産学官共同研究に関わることのできるコースです。研究室は各専攻内の既存の研究室に配属となり、志望する場合は願書提出前に受入に関する事前相談(※3)をし、了承を得ておくことが必要になります。

※1 共同研究講座：外部の企業等からの出資により、大阪大学内に設置された研究室規模の研究組織。

※2 協働研究所：外部の企業等からの出資により、大阪大学内に設置された研究所規模の研究組織。

※3 事前相談の問合せ先：産学官共創講座事務局(creation@mit.eng.osaka-u.ac.jp)

産学官共創コースホームページ：<http://www.mit.eng.osaka-u.ac.jp/ioc/>

(3) 第2志望・第3志望について

第1志望、第2志望及び第3志望の組合せと選択科目については表1(P.3～5)を参照し、入学願書に記入してください。

【表1.志望専攻・コース、受験選択科目】 ※必ず「8.入学者選抜」及び「15.筆記試験科目」を参照してください。

●第1志望のみの場合の受験選択科目

| 志願専攻・コース | | 願書に記載する受験選択科目 |
|----------------|-----------------|---|
| 生物工学専攻 | 生物工学コース | 選択自由（記入不要） |
| 応用化学専攻 | ※専攻単位で選抜を行います。 | 選択自由（記入不要） |
| 物理学系専攻 | 精密工学コース | 選択自由（記入不要） |
| | 応用物理学コース | （記入不要） |
| 機械工学専攻 | 機械工学コース | （記入不要） |
| マテリアル生産科学専攻 | マテリアル科学コース | 選択自由（記入不要） |
| | 生産科学コース | (1)～(4)のうち2科目を選択し記入 (1) 金属・無機材料学 (2) 電気・電子工学 (3) 材料力学 (4) 一般物理 |
| 電気電子情報通信工学専攻 | 電気工学コース | 選択自由（記入不要） |
| | 情報通信工学コース | 選択自由（記入不要） |
| | 量子情報エレクトロニクスコース | 選択自由（記入不要） |
| | イノベーションデザインコース | 選択自由で科目は記入不要ですが、入学後に配属を希望する研究室が所属するコース名を「受験選択科目」欄に記入してください |
| 環境エネルギー工学専攻 | 環境工学コース | 選択自由（記入不要） |
| | エネルギー量子工学コース | 選択自由（記入不要） |
| 地球総合工学専攻 | 船舶海洋工学コース | （記入不要） |
| | 社会基盤工学コース | 選択自由（記入不要） |
| | 建築工学コース | （記入不要） |
| ビジネスエンジニアリング専攻 | ビジネスエンジニアリングコース | 基礎科目、一般工学について、それぞれ以下のとおり選択 【基礎科目】 (1)～(4)の内 1科目を選択し記入 (1) 数学 (2) 物理学 (3) 化学 (4) 科学技術論基礎 【一般工学】 (1)～(6)の内 1科目を選択し記入 (1) 材料力学 (2) 電気・電子工学 (3) 金属・無機材料学 (4) 都市計画学 (5) 物性科学 (6) 工業化学 |

●第2～3志望がある場合の選択可能専攻・コース及び受験選択科目

| 志願専攻・コース（第1志望） | | 第2志望 | 第3志望 | 願書に記載する受験選択科目 | |
|----------------|---|---|---|--|------------|
| 生物工学専攻 | 生物工学コース | 第2志望、第3志望は希望できません。 | | | |
| | 産学官共創コース | 生物工学コース | | | |
| 応用化学専攻 | ※専攻単位で選抜を行います。 | ※専攻単位で選抜を行いますので、第2志望、第3志望の記入は不要です。 | | | |
| 物理学系専攻 | 精密工学コース | 第2志望、第3志望は希望できません。 | | | |
| | 応用物理学コース | 第2志望、第3志望は希望できません。 | | | |
| | 産学官共創コース | 精密工学コース | | 選択自由（記入不要） | |
| | | 応用物理学コース | | | |
| 機械工学専攻 | 機械工学コース | 第2志望、第3志望は希望できません。 | | | |
| | 産学官共創コース | 機械工学コース | | （記入不要） | |
| マテリアル生産科学専攻 | マテリアル科学コース | 生産科学コース | | 選択自由（記入不要） | |
| | 生産科学コース | マテリアル科学コース | | (1)～(4)のうち2科目を選択し記入 (1) 金属・無機材料学 (2) 電気・電子工学 (3) 材料力学 (4) 一般物理 | |
| | | ビジネスエンジニアリング専攻 ビジネスエンジニアリングコース | | | |
| | 産学官共創コース | マテリアル科学コース | 生産科学コース | | 選択自由（記入不要） |
| 生産科学コース | | | マテリアル科学コース ビジネスエンジニアリング専攻 ビジネスエンジニアリングコース | (1)～(4)のうち2科目を選択し記入 (1) 金属・無機材料学 (2) 電気・電子工学 (3) 材料力学 (4) 一般物理 | |
| 電気電子情報通信工学専攻 | 電気工学コース 情報通信工学コース 量子情報エレクトロニクスコース | 志願コース以外のコースを第2～3志望とすることができます。 ※イノベーションデザインコースは第2～3志望には選択できません。 | | 選択自由（記入不要） | |
| | イノベーションデザインコース（産学官共創コース） | 入学後に配属を希望する研究室が所属するコース以外のコースを第2～3志望に記入することができます。（第2志望と第3志望のコースは第1志望の研究室が所属するコース以外で、かつ、第2志望と第3志望は異なるコースを記入してください。） | | 入学後に配属を希望する研究室が所属するコース名を記入してください | |
| 環境エネルギー工学専攻 | 環境工学コース | エネルギー量子工学コース | ビジネスエンジニアリング専攻 ビジネスエンジニアリングコース | 選択自由（記入不要） | |
| | | ビジネスエンジニアリング専攻 ビジネスエンジニアリングコース | | 選択自由（記入不要） | |
| | エネルギー量子工学コース | 環境工学コース | ビジネスエンジニアリング専攻 ビジネスエンジニアリングコース | 選択自由（記入不要） | |
| | | ビジネスエンジニアリング専攻 ビジネスエンジニアリングコース | | 選択自由（記入不要） | |
| | 産学官共創コース | 環境工学コース | エネルギー量子工学コース | | 選択自由（記入不要） |
| | | | ビジネスエンジニアリング専攻 ビジネスエンジニアリングコース | | 選択自由（記入不要） |
| | | エネルギー量子工学コース | 環境工学コース | | 選択自由（記入不要） |
| | | | ビジネスエンジニアリング専攻 ビジネスエンジニアリングコース | | 選択自由（記入不要） |
| 地球総合工学専攻 | 船舶海洋工学コース | 第2志望、第3志望は希望できません。 | | | |
| | 社会基盤工学コース | 第2志望、第3志望は希望できません。 | | | |
| | 建築工学コース | 第2志望、第3志望は希望できません。 | | | |
| | 産学官共創コース | 船舶海洋工学コース | | （記入不要） | |
| | | 社会基盤工学コース | | 選択自由（記入不要） | |
| | 建築工学コース | | （記入不要） | | |

| 志願専攻・コース (第1志望) | 第2志望 | 第3志望 | 願書に記載する受験選択科目 |
|-----------------|-----------------|-----------------------------|--|
| ビジネスエンジニアリング専攻 | 産学官共創コース | | 基礎科目、一般工学について、それぞれ以下のとおり選択 【基礎科目】 (1)～(4)の内 1科目を選択し記入 (1) 数学 (2) 物理学 (3) 化学 (4) 科学技術論基礎 【一般工学】 (1)～(6)の内 1科目を選択し記入 (1) 材料力学 (2) 電気・電子工学 (3) 金属・無機材料学 (4) 都市計画学 (5) 物性科学 (6) 工業化学 |
| | ビジネスエンジニアリングコース | 環境エネルギー工学専攻 環境工学コース | 基礎科目、一般工学について、それぞれ以下のとおり選択 【基礎科目】 (1)～(4)の内 1科目を選択し記入 (1) 数学 (2) 物理学 (3) 化学 (4) 科学技術論基礎 【一般工学】 (1)～(6)の内 1科目を選択し記入 (1) 材料力学 (2) 電気・電子工学 (3) 金属・無機材料学 (4) 都市計画学 (5) 物性科学 (6) 工業化学 |
| | | 環境エネルギー工学専攻 エネルギー量子工学コース | 基礎科目、一般工学について、それぞれ以下のとおり選択 【基礎科目】 (1)～(4)の内 1科目を選択し記入 (1) 数学 (2) 物理学 (3) 化学 (4) 科学技術論基礎 【一般工学】 (1)～(6)の内 1科目を選択し記入 (1) 材料力学 (2) 電気・電子工学 (3) 金属・無機材料学 (4) 都市計画学 (5) 物性科学 (6) 工業化学 |
| | | マテリアル生産科学専攻 生産科学コース | ・基礎科目では(1)数学を記入 ・一般工学では(1)～(3)のいずれか1つを選択し記入 (1) 材料力学 (2) 電気・電子工学 (3) 金属・無機材料学 |
| ビジネスエンジニアリング専攻 | 産学官共創コース | ビジネスエンジニアリングコース | 基礎科目、一般工学について、それぞれ以下のとおり選択 【基礎科目】 (1)～(4)の内 1科目を選択し記入 (1) 数学 (2) 物理学 (3) 化学 (4) 科学技術論基礎 【一般工学】 (1)～(6)の内 1科目を選択し記入 (1) 材料力学 (2) 電気・電子工学 (3) 金属・無機材料学 (4) 都市計画学 (5) 物性科学 (6) 工業化学 |
| | | 環境エネルギー工学専攻 環境工学コース | 基礎科目、一般工学について、それぞれ以下のとおり選択 【基礎科目】 (1)～(4)の内 1科目を選択し記入 (1) 数学 (2) 物理学 (3) 化学 (4) 科学技術論基礎 【一般工学】 (1)～(6)の内 1科目を選択し記入 (1) 材料力学 (2) 電気・電子工学 (3) 金属・無機材料学 (4) 都市計画学 (5) 物性科学 (6) 工業化学 |
| | | 環境エネルギー工学専攻 エネルギー量子工学コース | 基礎科目、一般工学について、それぞれ以下のとおり選択 【基礎科目】 (1)～(4)の内 1科目を選択し記入 (1) 数学 (2) 物理学 (3) 化学 (4) 科学技術論基礎 【一般工学】 (1)～(6)の内 1科目を選択し記入 (1) 材料力学 (2) 電気・電子工学 (3) 金属・無機材料学 (4) 都市計画学 (5) 物性科学 (6) 工業化学 |
| | | マテリアル生産科学専攻 生産科学コース | ・基礎科目では(1)数学を記入 ・一般工学では(1)～(3)のいずれか1つを選択し記入 (1) 材料力学 (2) 電気・電子工学 (3) 金属・無機材料学 |

3. 出願資格

日本国籍を有する者又は日本における在留資格が「永住者」、「特別永住者」、「定住者」のいずれかである者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 我が国の大学又は専門職大学を卒業した者及び 2024 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び 2024 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2024 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2024 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学も含む。以下同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2024 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2024 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2024 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2024 年 3 月 31 日までに 22 歳に達するもの

(注 1) 出願資格の (9) により出願しようとする者は、事前に出願資格審査（「4.出願資格審査」参照）を申請し、出願資格審査に合格する必要があります。

(注 2) 日本における在留資格が「永住者」、「特別永住者」、「定住者」又は「留学」以外であり、また入学時に在留資格を「留学」に変更しない者が出願を希望する場合は、本研究科教務課入試係（以下「入試係」という。）へ問い合わせてください。

(注 3) 出願資格の (5)、(7)、(8) については、工学研究科ホームページの「大学院入試情報」を参照してください。

工学研究科ホームページ URL : https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g_admissions/

4. 出願資格審査

「3. 出願資格」の(1)～(8)のいずれにも該当しない者は、事前に出願資格審査を受け、出願資格審査に合格する必要があります。該当する者は、受付期間内に次の書類を持参又は必着するように郵送してください。

※出願資格(1)～(8)に該当する者(例：大学や高等専門学校専攻科を卒業した者及び2024年3月31日までに卒業見込みの者)は、本審査は不要です。

① 出願資格審査申請書類

(「7. 出願書類」の注記も参照してください。)

| 書 類 | 内 容 |
|------------------------------------|---|
| 1. 出願資格審査申請書(様式1) | 所定の用紙に所要事項を記入してください。 |
| 2. 研究実績調書(様式2) | 所定の用紙に所要事項を記入してください。 |
| 3. 履歴書(様式3) | 所定の用紙に所要事項を記入してください。 |
| 4. 志望理由書(様式4) +志望領域の申請書(※必要者のみ) | 所定の用紙に所要事項を記入してください。 ※環境エネルギー工学専攻では、志望領域の申請書が必要です。詳細については、環境エネルギー工学専攻のホームページを参照してください。(https://see.eng.osaka-u.ac.jp/exam/) ※各専攻における産学官共創コースを志望する場合、志望領域の申請書が必要です(電気電子情報通信工学専攻を除く)。詳細については、産学官共創コースのホームページを参照してください。(http://www.mit.eng.osaka-u.ac.jp/ioc/) |
| 5. 成績証明書 | 最終学歴の成績証明書又はこれに準ずるもので、教育機関の長が作成したものを提出してください。 ※偽造防止用紙を用いた証明書を提出する場合は厳封不要 ※大学に3年次編入学した者は、編入学前に在籍していた教育機関の成績証明書も併せて提出してください。 |
| 6. 連絡受信先ラベル | 所定の用紙に所要事項を記入してください(ラベルに印字されている「様」は書き換えないでください。 ※本学工学部在籍者は提出不要 |

② 受付期間： 2023年6月5日(月)～9日(金)

【持参の場合】

受付時間： 9時30分～15時(ただし、11時30分～12時30分は除く。)

受付場所： 工学研究科教務課入試係(U1M棟<管理棟>1階)

(書類を封筒等に入れる必要はありません。)

【郵送の場合】

宛先： 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 大阪大学工学研究科教務課入試係

(必ず「書留」郵便とし、封筒の表に「博士前期課程出願資格審査申請」と朱書き)

上記受付期間内に郵送により到着したものを受け付けます。

ただし、期限後に到着した場合でも2023年6月7日(水)以前の日本国内発信局消印のある「書留」郵便に限り受け付けます。

(注1) 出願資格審査の結果は、2023年6月26日(月)までにお知らせしますので、届かない場合は出願期日に間に合うように入試係へ問い合わせてください。問合せがない場合は、受領したものとして取り扱います。

(注2) 出願資格申請書類については「7.出願書類」欄外の(注1)～(注6)と同様に取り扱います。

5. 出願手続

出願資格の(1)～(8)のいずれかに該当する者又は出願資格審査に合格した者が出願する場合は、次に示す要領に従って出願受付期間内に出願手続を行ってください。

① 提出書類

【出願資格の(1)～(8)のいずれかに該当する者】

「7. 出願書類」の1～13

【出願資格の(9)に該当する者】

「7. 出願書類」の1～2、6～9及び11～13

② 出願受付期間： 2023年7月3日(月)～14日(金)(ただし、土日祝は除く。)

【持参の場合】

受付時間： 9時30分～15時(ただし、11時30分～12時30分は除く。)

受付場所： 工学研究科教務課入試係(U1M棟<管理棟>1階)

(書類を封筒等に入れる必要はありません。)

【郵送の場合】

宛先： 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1

大阪大学工学研究科教務課入試係

(必ず「書留」郵便とし、封筒の表に「博士前期課程入学願書」と朱書き)

上記出願受付期間内に郵送により到着したものを受け付けます。

ただし、期限後に到着した場合でも2023年7月12日(水)以前の日本国内発信局消印のある「書留」郵便に限り受け付けます。

6. 検定料

入学検定料は、検定料納入システムを通じてお支払いください。

金額及び納入期限については以下のとおり、支払方法については次ページから記載のとおりです。

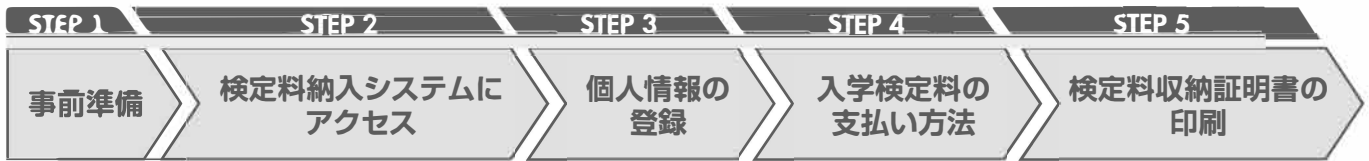
【金額】30,000円

※システム利用時に別途発生する手数料は出願者の自己負担となります。

【納入期限】2023年6月26日(月)10時～7月14日(金)15時

入学検定料支払の流れ

入学検定料支払の流れは、以下のとおりです
 事前準備、お支払方法についての詳細は検定料納入システム「はじめに」をご確認ください



STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを
用意してください。

STEP 2 検定料納入システムにアクセス

<https://e-apply.jp/n/osaka-u-payment>
からアクセス

STEP 3 個人情報の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①学部、研究科等

②個人情報(氏名・住所等)

③申込登録完了
受付番号(12桁)は必ず控えてください。
個人情報を確認する場合と、入学検定料支払証明書を出力する際に必要になります。

④入学検定料の支払い方法
● コンビニエンスストア
● ペイジー対応銀行ATM
● ネットバンキング ● クレジットカード

⑤検定料収納証明書
(イメージ)

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を控え、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。
 ※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、個人情報登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。



海外居住者は、クレジットカード及び利用可能なネットバンキングでの決済のみとなります。日本国外のコンビニエンスストアでの決済は出来ません。

STEP

4



入学検定料の支払い

検定料の支払いには期限があり、申込日を含めて4日間です。支払期限を過ぎた場合は自動的にキャンセルとなり支払いができませんので、ご注意ください。
申込み時点で受付終了まで4日間ない場合は、申込み終了日が優先されます。

1 クレジットカードでの支払い

個人情報の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

個人情報の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi

LAWSON



マルチコピー機

あなたも、コンビニ。
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

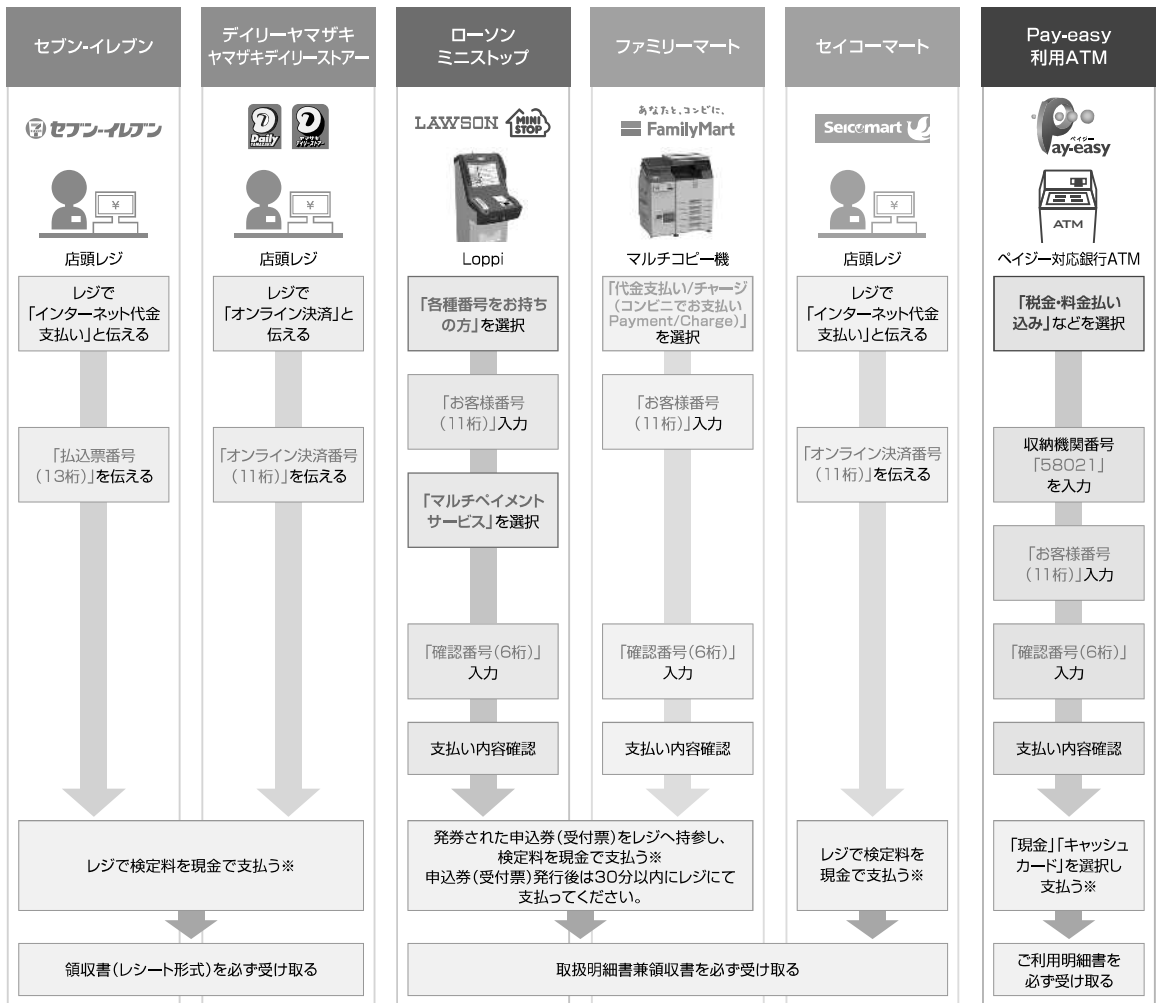
個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

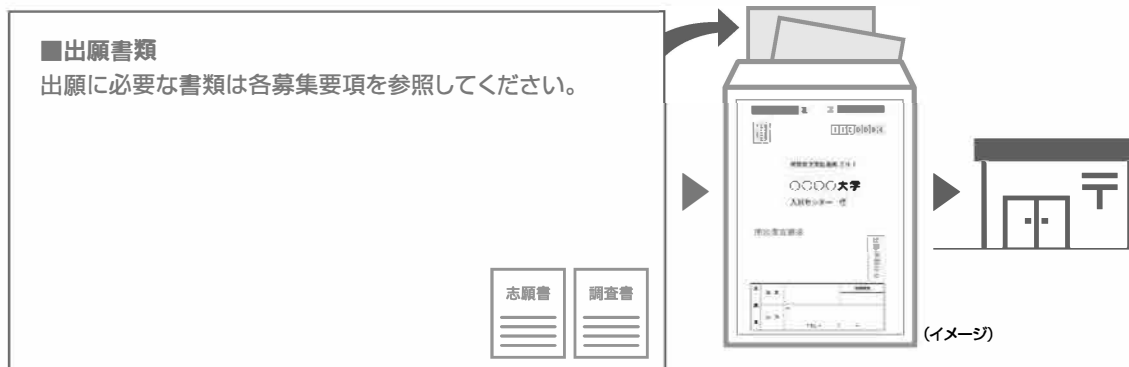
STEP

5



検定料収納証明書の印刷

登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類をA4サイズで印刷し、出願書類を出願期間内に郵送してください。※郵送先、出願締切日は各募集要項を参照してください。



※いったん受理した入学検定料・出願書類は一切返却しません。

※なお、出願書類が大阪大学に到着したかどうかに関する問合せについては、一切応じませんので、各自郵便局等で確認してください。

〈支払完了〉

登録時の 注意点

出願は学生募集要項記載の出願書類と検定料収納証明書を併せて郵送して完了となります。登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

●被災者に対する検定料免除について

大阪大学では、大規模災害における被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るため、入学者選抜において検定料免除の特別措置を講じます。

※科目等履修生等の非正規学生の入学者選抜は対象外です。

詳しくは大阪大学ホームページ(<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/information>)を確認してください。

なお、この場合、検定料納入システムは利用できません。この場合の出願については本紙に記載の問合せ先に確認してください。

●検定料の返還について

納入された検定料は次の場合を除き返還できません。返還請求方法は、本紙に記載の問合せ先に確認してください。

- (a) 出願書類を提出しなかった場合、又は受理されなかった場合
- (b) 検定料を誤って二重に納入した場合

〈本サイト及び操作に関するお問い合わせ先〉

「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター（運用会社：株式会社ディスコ）

TEL: 0120-202-079 E-Mail: cvs-web@disc.co.jp

※入試及び大学に関してのご質問にはお応えできません。

※電話でのお問合せは日本語対応のみです。

〈入試に関するお問い合わせ先〉

入試に関するご質問は、募集要項に記載の大学連絡先へ問い合わせてください。

7. 出願書類

| 書 類 | 内 容 |
|--|--|
| 1. 入学願書 | 所定の用紙に所要事項を記入してください。 |
| 2. 検定料収納証明書 | 検定料収納証明書の PDF ファイルを A4 サイズで印刷して提出してください。 |
| 3. 履歴書（様式 3） | 所定の用紙に所要事項を記入してください。 |
| 4. 志望理由書（様式 4） + 志望領域の申請書（必要者のみ） | <p>所定の用紙に所要事項を記入してください。</p> <p>※環境エネルギー工学専攻では、志望領域の申請書が必要です。 詳細については、環境エネルギー工学専攻のホームページ（https://see.eng.osaka-u.ac.jp/exam/）を参照してください。</p> <p>※各専攻における産学官共創コースでは、志望領域の申請書が必要です（電気電子情報通信工学専攻を除く）。詳細については、産学官共創コースのホームページを参照してください。（http://www.mit.eng.osaka-u.ac.jp/ioc/）</p> |
| 5. 成績証明書 | <p>最終学歴の成績証明書又はこれに準ずるもので、教育機関の長が作成したものを提出してください。また、高等専門学校出身者は<u>本科・専攻科両方</u>の成績証明書を提出してください。</p> <p>大学に 3 年次編入学した者は、編入学前に在籍していた教育機関の成績証明書も併せて提出してください。ただし、本学工学部に 3 年次編入学し、卒業または在籍している場合は本学の成績証明書のみ提出してください。 ※偽造防止用紙を用いた証明書を提出する場合は厳封不要</p> |
| 6. 卒業（見込）／退学証明書 | 出身大学長又は学部長の発行した卒業（見込）証明書を提出してください。最終出身学校を退学した場合、退学証明書及び直前の出身学校の卒業証明書を提出してください。 |
| 7. 学士の学位証明書 ※出願資格（2）以外の者は提出不要 | 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出してください。なお、大学改革支援・学位授与機構に学士の学位を申請する予定の者は、在籍する教育機関の長の学位授与申請予定証明書を提出してください。 |
| 8. 在留カード（両面）の写し ※日本人は提出不要 | 日本国籍を有しない外国人志願者は、在留資格、在留期間及び現住所が記載された在留カードの両面を A4 サイズの用紙にコピーして提出してください。 |
| 9. 英語能力証明書 (TOEIC 公式認定証、TOEFL 受験者用控えスコア票又は IELTS 成績証明書) | <p>表 2 に示す各専攻・コースが指定する英語能力証明書（TOEIC 公式認定証、TOEFL 受験者用控えスコア票 <Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report>、又は IELTS 成績証明書のいずれか 1 つ）の原本とその写し（A4・白黒可）を提出してください。原本と写しを照合後、原本は返却します（持参：その場で返却。郵送：受験票送付時に併せて送付）。原本のみを提出した場合は返却しません。※自身の ETS アカウント上でダウンロードできる Test Taker Score Report に限り、その印刷版を原本として提出可能です。</p> <p>いずれの試験とも原則として 2021 年 8 月 1 日から 2023 年 5 月 31 日までに受験した公開テストを有効としますので、出願期間までに必ず間に合うように計画的に受験してください。（ただし、2023 年 6 月 1 日以降に受験したものであっても出願期間中に原本を提出できる場合に限り受け付けます。）</p> |
| 10. 連絡受信先ラベル ※本学工学部在籍者は提出不要 | 所定の用紙に所要事項を記入してください。（ラベルに印字されている「様」は書き換えないでください。） |
| 11. 受験票・写真票 | 所定の用紙に写真（3 か月以内に撮影）を貼付し、所要事項を記入してください。 |
| 12. 受験票送付用封筒 | 所定の用紙に受験者本人の郵便番号、住所及び氏名を明記のうえ、 長形 3 号 の封筒（120mm×235mm）に貼付し、 94 円分の切手 を貼付してください。（用紙に印字されている「様」は書き換えないでください。） |
| 13. 合否結果送付用封筒 | 所定の用紙に受験者本人の郵便番号、住所及び氏名を明記のうえ、 長形 3 号 の封筒（120mm×235mm）に貼付し、 404 円分の切手 を貼付してください。（用紙に印字されている「様」は書き換えないでください。） |

（注 1）記入が必要な書類は全て黒のペン又はボールペン（消せるボールペンは使用不可）で記入してください。

（注 2）出願書類に不備がある場合は、受理できません。

（注 3）出願手続後は、記載事項の変更及び提出書類の差し替えを認めません。

（注 4）入学願書等に記載する氏名と証明書に記載された氏名が改姓名等により異なる場合は、改姓名の事実を証明できる書類（戸籍抄本等）を添付してください。

(注5) 「提出不要」と明記しているものを除き、該当する書類は全て提出する必要があります。

(注6) 「返却します」と明記しているものを除き、提出された書類は一切返却しません。

(注7) 受験票は、出願手続後受験票送付用封筒にて郵送します。なお、日本国外に居住している者へは、志望専攻・コースから配付します。2023年7月31日(月)までに届かない場合は、入試係へ問い合わせてください。

【表2. 英語能力証明書、専攻・コース別指定】

各専攻・コースにおいて✓を付した証明書を受理する。

※産学官共創コースの志願者は、入学後に配属を希望する研究室が所属するコースを参照してください。

| 専攻 | コース | TOEIC L&R※1 | TOEFL※2 | IELTS |
|--------------|----------------|-------------|---------|-------|
| 生物工学 | 生物工学 | ✓ | ✓ | |
| 応用化学 | ※専攻単位で選抜を行います。 | ✓ | ✓ | ✓ |
| 物理学系 | 精密工学 | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 応用物理学※3 | ✓ | ✓ | ✓ |
| 機械工学 | 機械工学 | ✓ | ✓ | |
| マテリアル生産科学 | マテリアル科学 | ✓ | ✓ | |
| | 生産科学 | ✓ | ✓ | |
| 電気電子情報通信工学 | 電気工学 | ✓ | ✓ | |
| | 情報通信工学 | ✓ | ✓ | |
| | 量子情報エレクトロニクス | ✓ | ✓ | |
| | イノベーションデザイン | ✓ | ✓ | |
| 環境エネルギー工学 | 環境工学 | ✓ | ✓ | |
| | エネルギー量子工学 | ✓ | ✓ | |
| 地球総合工学 | 船舶海洋工学 | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 社会基盤工学 | ✓ | ✓ | ✓ |
| | 建築工学 | ✓ | ✓ | |
| ビジネスエンジニアリング | ビジネスエンジニアリング | ✓ | ✓ | ✓ |

【注意事項】

以下の英語試験の成績証明書は受理しません。

TOEIC : TOEIC-IP (団体特別受験制度で受験したもの)、TOEIC® Speaking & Writing Test、TOEIC® Speaking Test、TOEIC Bridge® Test

TOEFL : TOEFL-ITP (団体特別受験制度で受験したもの)

IELTS : General Training Module

※1 TOEIC L&R は TOEIC® Listening & Reading Test を示します。

※2 TOEFL は公式スコア票 (Official Score Report) ではなく、受験者用控えスコア票 (Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report) を提出してください。ただし、受験者用控えスコア票が発行されない国・地域で TOEFL を受験し、そのスコアを利用する場合は、出願期間の6週間前までに入試係へ問い合わせてください。

※3 物理学系専攻応用物理学コースの志願者及び当コースを第2志望とする物理学系専攻産学官共創コースの志願者で、最終学歴が英語を主たる言語とする大学・教育施設等である者については、英語能力証明書の提出が不要となる場合があります。該当すると思われる志願者は、必ず出願前に問い合わせてください。

8. 入学者選抜

入学者選抜は、次に示す学力試験（筆記試験及び口頭試問）の成績及び出願書類の選考結果を総合して行います。

※産学官共創コースの志願者は、入学後に配属を希望する研究室が所属する専攻・コースを参照してください。

| 専攻 | コース等 | 実施日 | 試験時間 | 学力試験等 | |
|-------------|----------------|---|---|------------------|------------|
| 生物工学 | 生物工学 | 8月22日（火） | 10:00～11:30 | 専門科目（生物工学Ⅰ） | |
| | | | 13:00～16:00 | 専門科目（生物工学Ⅱ） | |
| | | 8月23日（水） | 13:00～17:00 | 口頭試問 | |
| 応用化学 | ※専攻単位で選抜を行います。 | 8月22日（火） | 13:30～14:30 | 外国語（専門英語） | |
| | | | 15:30～18:00 | 専門科目（化学Ⅰ） | |
| | | 8月23日（水） | 10:00～12:00 | 専門科目（化学Ⅱ） | |
| 物理学系 | 精密工学 | 8月22日（火） | 10:00～12:00 | 専門科目（数学） | |
| | | | 13:00～16:00 | 専門科目（物理学） | |
| | | 8月24日（木） | 13:30～ | 口頭試問 | |
| | 応用物理学 | 8月22日（火） | 9:30～11:00 | 数学 | |
| | | | 11:30～12:30 | 論述問題 | |
| | | 8月23日（水） | 13:30～ | 口頭試問 | |
| 機械工学 | 機械工学 | 8月22日（火） | 9:30～11:00 | 力学と機械力学 | |
| | | | 12:30～16:20* | 専門科目 | |
| | | *4科目45分ずつ試験を実施 途中の解答用紙回収および問題・解答用紙配付の時間を含む | | | |
| | | 8月23日（水） | 10:00～11:30 | 数学 | |
| マテリアル生産科学 | マテリアル科学 | 8月22日（火） | 9:00～ 9:30 | ガイダンス | |
| | | | 9:30～11:30 | 数学 | |
| | | | 11:40～12:30 | 入学試験調書など説明・記入・提出 | |
| | 生産科学 | 8月23日（水） | 9:30～12:30 | 専門科目 | |
| | | | 8月24日（木） | 10:00～ | 口頭試問 |
| | | | | 8月22日（火） | 9:30～11:30 |
| | | 8月23日（水） | | | 9:30～12:30 |
| | | | 8月24日（木） | | 13:00～ |
| | | 電気電子情報通信工学 | 電気工学 情報通信工学 量子情報エレクトロニクス イノベーションデザイン | 8月22日（火） | 9:30～12:30 |
| 14:00～16:00 | 専門科目 | | | | |
| 8月24日（木） | 9:00～ | | | 口頭試問 | |
| 環境エネルギー工学 | 環境工学 | 8月22日（火） | 13:00～14:30 | 小論文 | |
| | | 8月23日（水） | 13:00～15:30 | 基礎科目・専門科目 | |
| | | 8月24日（木） | 9:00～ | 口頭試問 | |
| | エネルギー量子工学 | 8月23日（水） | 13:00～15:30 | 基礎科目 | |
| | | 8月24日（木） | 9:00～ | 口頭試問 | |

| 専攻 | コース等 | 実施日 | 試験時間 | 学力試験等 |
|--------------|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 地球総合工学 | 船舶海洋工学 | 8月22日(火) | 9:30~11:30 | 数学 |
| | | | 13:00~15:00 | 力学 |
| | | 8月23日(水) | 9:30~11:30 | 材料力学 |
| | | | 13:00~15:00 | 流体力学 |
| | | 8月24日(木) | 13:00~ | 口頭試問 |
| | | 社会基盤工学 | 8月22日(火) | 10:00~10:30 |
| | 10:30~12:00 | | | 数学 |
| | 13:30~16:00 | | | 専門科目 |
| | 8月23日(水) | 13:30~ | 口頭試問 | |
| | 建築工学 | 8月22日(火) | 10:00~12:00 | 構造力学 |
| | | | 13:00~15:00 | 建築構造学 |
| | | | 15:30~17:30 | 建築計画学 |
| 8月23日(水) | | 10:00~12:00 | 建築環境工学 | |
| | | 13:00~17:00 | 建築設計製図 | |
| 8月24日(木) | | 9:00~12:30 | 口頭試問 | |
| ビジネスエンジニアリング | ビジネスエンジニアリング | 8月22日(火) | 9:30~11:30 | 基礎科目(数学) |
| | | | 13:00~14:30 | 小論文 |
| | | 8月23日(水) | 9:30~11:00 | 一般工学 |
| | | | 13:00~14:30 | 基礎科目 |
| | | 8月24日(木) | 9:30~12:30 | 口頭試問 |

(注1) 「15.筆記試験科目」を必ず参照してください。

(注2) 生物工学専攻生物工学コースでは、試験問題の英語版について対応可能なため、希望される方は出願前に、「12.過去問題、試験内容、研究内容等に関する問合せ先(各専攻連絡先)」記載の連絡先まで事前に連絡してください。

(注3) 試験時間割表及び試験場所等の詳細な注意事項は、2023年8月2日(水)午後から工学研究科ホームページ(https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g_admissions/)の大学院入試情報に掲載しますので、各自確認してください。

9. 合格者発表

合格者発表は、以下の日時に工学研究科ホームページ

(https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/entrance/g_admissions/) の大学院入試情報において行います。

また合格者発表後、合否結果を郵送します。

なお、電話又はメールによる合否の問合せには一切応じません。

合格者発表日時： 2023年9月1日（金）14時

※発表後約30分間は、回線が混み合い接続に時間がかかることが予想されますので、あらかじめご了承ください。

10. 入試成績の開示について

(1) 開示の概要

博士前期課程一般入試における受験者の個人成績については、以下のとおり開示します。

①筆記試験（TOEIC等の成績を含む）及び口頭試問*の得点の総合点（*口頭試問が「合否」で評価される場合は総合点に算入しません。）

②第1志望の専攻又はコースにおける合格者の総得点の最高点・最低点

（注）試験区分単位の合格者数が少人数の場合は、②は開示しません。また、物理学系専攻応用物理学コースの受験者で、TOEIC、TOEFL又はIELTSの提出が不要になった者についても、②は開示しません。

(2) 開示請求の方法

① 申込必要書類

| 書 類 | 内 容 |
|-----------------------|---|
| 入試成績開示請求書（様式5） | 所定の用紙に所要事項を記入してください。様式は2023年9月1日（金）14時以降にホームページに掲載します。 |
| 受験票 | ※受験票を紛失した場合は、合否結果通知に加え、顔写真付きの身分証（学生証や運転免許証等）を提出してください。 ※郵送による請求の場合、身分証に限りコピーで提出可 |
| 返信用封筒 ※持参の場合も必要です。 | 定形（長形3号）封筒に送付先（受験者本人の住所（郵便番号）・氏名）を明記し、 <u>404円分の郵便切手を貼付してください。</u> |

② 受付期間： 2023年9月4日（月）～9月15日（金）（ただし、土日祝は除く。）

【持参の場合】

受付時間： 9時30分～15時（ただし、11時30分～12時30分は除く。）

受付場所： 工学研究科U1M棟（管理棟）1階、教務課入試係

【郵送の場合】

宛先： 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 大阪大学工学研究科教務課入試係

（封筒の表に「成績開示請求」と朱書き）

上記受付期間内に郵送により到着したものを受け付けます。

ただし、期限後に到着した場合でも 2023 年 9 月 13 日（水）以前の日本国内発信局消印のあるものに限り受け付けます。

(注 1) 開示書類は 2023 年 10 月上旬に送付します。2023 年 10 月 10 日（火）までに届かない場合は、入試係へ問い合わせてください。

(注 2) 受付期間を過ぎた後の申込は、一切受け付けません。

11. 入学料及び授業料・入学手続

(1) 入学料： 282,000 円

(2) 授業料： 年額 535,800 円〔半期 267,900 円〕

(3) 入学手続期間は、2024 年 3 月中旬を予定しています。なお、入学手続書類は、2024 年 2 月中旬以降に発送予定です。

(注 1) 入学料及び授業料の納入時期等の詳細は、入学手続書類でお知らせします。

(注 2) 入学料及び授業料の金額は改定する場合があります。

また、在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

12. 過去問題、試験内容、研究内容等に関する問合せ先（各専攻連絡先）

| 専攻 | コース | 電話番号 | E-mail/URL |
|--------------|--------------|--------------|--|
| 生物工学 | 生物工学 | 06-6879-7449 | E-mail: jim@bio.eng.osaka-u.ac.jp https://www.bio.eng.osaka-u.ac.jp/ |
| 応用化学 | 分子創成化学 | 06-6879-7377 | E-mail: chemoff@chem.eng.osaka-u.ac.jp https://www.applchem.eng.osaka-u.ac.jp/ |
| | 物質機能化学 | | |
| 物理学系 | 精密工学 | 06-6879-7300 | E-mail: prec-office@prec.eng.osaka-u.ac.jp http://www.prec.eng.osaka-u.ac.jp/ |
| | 応用物理学 | 06-6879-7861 | E-mail: www-apadm@ap.eng.osaka-u.ac.jp http://www.ap.eng.osaka-u.ac.jp/graduate/ |
| 機械工学 | 機械工学 | 06-6879-4486 | E-mail: mech-jimushitsu@mech.eng.osaka-u.ac.jp http://www.mech.eng.osaka-u.ac.jp/ |
| マテリアル生産科学 | マテリアル科学 | 06-6879-7508 | E-mail: mat-jim@mat.eng.osaka-u.ac.jp http://www.mat.eng.osaka-u.ac.jp/ |
| | 生産科学 | 06-6879-7569 | E-mail: pseoffa@mapse.eng.osaka-u.ac.jp http://www.mapse.eng.osaka-u.ac.jp/ |
| 電気電子情報通信工学 | 電気工学 | 06-6879-7719 | E-mail: in-nyuushi@eei.eng.osaka-u.ac.jp http://www.eei.eng.osaka-u.ac.jp/ |
| | 情報通信工学 | | |
| | 量子情報エレクトロニクス | | |
| | イノベーションデザイン | | |
| 環境エネルギー工学 | 環境工学 | 06-6879-7682 | E-mail: env_administrator@see.eng.osaka-u.ac.jp https://see.eng.osaka-u.ac.jp/ |
| | エネルギー量子工学 | | E-mail: erg_administrator@see.eng.osaka-u.ac.jp https://see.eng.osaka-u.ac.jp/ |
| 地球総合工学 | 船舶海洋工学 | 06-6879-7595 | E-mail: naoe-jimu@naoe.eng.osaka-u.ac.jp http://www.naoe.eng.osaka-u.ac.jp/ |
| | 社会基盤工学 | 06-6879-7628 | E-mail: civil-jimu@civil.eng.osaka-u.ac.jp http://www.civil.eng.osaka-u.ac.jp/ |
| | 建築工学 | 06-6879-4220 | E-mail: kyomu@arch.eng.osaka-u.ac.jp http://www.arch.eng.osaka-u.ac.jp/ |
| ビジネスエンジニアリング | ビジネスエンジニアリング | 06-6879-4075 | E-mail: be_admission@mit.eng.osaka-u.ac.jp http://www.mit.eng.osaka-u.ac.jp/ |

(注) 各専攻における産学官共創コースの試験内容は、入学後に配属を希望する研究室が所属するコースと同じです。詳細は、産学官共創講座事務局 (E-mail: creation@mit.eng.osaka-u.ac.jp) までお問い合わせください。

13. 個人情報の取扱いについて

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」、「入学手続」及び入学後に履修可能な教育プログラム等の業務を行うために利用します。また、入学者については、「教務関係（学籍管理、修学指導）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料収納に関する業務」を行うことにも利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。

14. 注意事項

- (1) 入学願書の履歴、入学資格につき虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (2) 障がい等のある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする者は、原則として 2023 年 6 月 30 日（金）までに入試係へ問い合わせてください。
- (3) 試験当日、自動車・バイクでの入構はできません。電車・バスを利用してください。
- (4) 出願資格審査又は出願に際して不明な点があれば、入試係へ問い合わせてください。

15. 筆記試験科目

(注) 必ず「12.過去問題、試験内容、研究内容等に関する問合せ先」記載のホームページを参照してください。

産学官共創コースの志願者は、入学後に配属を希望する研究室が所属するコースを参照してください。

| 専攻 | コース | 試験科目 | | |
|---|---|---------|--|---|
| 生物工学 | 生物工学 | 専門科目 | (1) 生物工学Ⅰ [基礎生物化学、生物化学工学*1] 1科目選択 []内を試験時に選択(願書に記入不要) | |
| | | | (2) 生物工学Ⅱ 生物化学・分子細胞生物学・微生物学 | |
| ※1 本学工学部応用自然科学科応用生物工学科目応用生物工学コース在籍生、又は同コース卒業生は必修 ※2 生物工学コースでは試験問題の英語版について対応可能なため、希望される方は出願前に「12. 過去問題、試験内容、研究内容等に関する問合せ先(各専攻連絡先)」記載の連絡先まで事前にご連絡ください。 | | | | |
| 応用化学 | ※専攻単位で 選抜を行います。 | 外国語 | 専門英語 | |
| | | 専門科目 | (1) 化学Ⅰ(必修) (2) 化学Ⅱ(試験時に問題を選択(願書に記入不要)) ※計算機は必要に応じて貸与 | |
| 物理学系 | 精密工学 | 専門科目 | (1) 数学 (2) 物理学 (力学、熱・統計力学、量子力学、電磁気学)から3科目選択 (材料力学、光学、固体物性)から1科目選択 以上()内を試験時に選択(願書に記入不要) | |
| | | 数学 | 線形代数、解析学など大学基礎レベル | |
| | 応用物理学 | 論述問題 | 論理的思考力や解析力を問う内容 | |
| 機械工学 | 機械工学 | 力学と機械力学 | 質点の力学、質点系の力学、剛体の力学、多自由度振動系の力学、回転機械の力学 | |
| | | 数学 | 線形代数、微積分、微分方程式、複素関数論、ベクトル解析、フーリエ解析、確率・統計 | |
| | | 専門科目 | (1) ~ (4) を 45 分ずつで解答 | |
| | | | (1) 材料力学 | 引張・圧縮、熱応力、ねじり、はりの曲げ・たわみ、座屈、薄肉円筒・球殻、不静定問題、組合せ応力 |
| | | | (2) 熱力学 | 熱力学第1および第2法則、熱力学の一般関係式、理想気体、蒸気および湿り空気、気体の流動、ガスサイクル、蒸気サイクル |
| (3) 流体力学 | 静止流体の力学、連続の式・ベルヌーイの式、運動量保存則・角運動量保存則、管路内の流れ、理想流体の流れ、粘性流体の流れ(層流に限る) | | | |
| (4) 制御工学 | システムの伝達関数・状態方程式、システムの応答・構造・安定性の解析、フィードバック制御系の設計 | | | |

| 専攻 | コース | 試験科目 | | |
|---------------|--|--------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
| マテリアル 生産科学 | マテリアル 科学 | 数学 | 線形代数、微分・積分、フーリエ解析、複素関数、微分方程式、確率・統計 | |
| | | 専門科目 | (1)～(7)の内 5 科目を試験時に選択 (願書に記入不要) | |
| | | | (1) 熱力学 | (熱容量、自由エネルギー、相平衡など) |
| | | | (2) 材料組織学 | (状態図、相変態、回復と再結晶など) |
| | | | (3) 材料強度学 | (結晶構造解析、転位を含む各種格子欠陥、降伏と変形など) |
| | | | (4) 材料の力学 | (応力とひずみ、一般化されたフックの法則、はりの変形、熱応力など) |
| | | | (5) 固体物性論 | (格子振動、波動方程式、バンド構造、原子模型など) |
| | (6) 化学反応論 | | (化学反応、反応速度、電気化学など) | |
| | | (7) 輸送現象論 | (流動、熱移動、物質移動、拡散など) | |
| | ※ 筆記用具以外の携帯品 携帯用計算用具 (プログラム機能等を有しない電池式電卓) を専門科目で使用可 | | | |
| | 生産科学 | 数学 | 線形代数、微分・積分、フーリエ解析、複素関数、微分方程式、確率・統計 | |
| | | 専門科目 | (1)～(4)の内 2 科目を選択し、入学願書に記入 | |
| | | | (1) 金属・無機材料学 | (材料熱力学、材料物理学、金属組織学、金属材料学、無機材料学など) |
| (2) 電気・電子工学 | | | (直流・交流回路、過渡現象、半導体工学、論理回路、電子回路など) | |
| (3) 材料力学 | | | (応力とひずみ、一般化されたフックの法則、はりの変形、円筒、熱応力など) | |
| | (4) 一般物理 | (力学、電磁気学、振動と波動、光学、熱力学など) | | |

| 専攻 | コース | 試験科目 | |
|--|--|--|--|
| 電気電子情報通信工学 | 電気工学 | 基礎科目 | (1) の () 内から 3 題、(2) 及び (3) の () 内から 2 題、合計 5 題を試験時に選択 (願書に記入不要) |
| | | | (1) 数学 (微積分、線形代数、微分方程式、複素関数論、フーリエ解析、ラプラス変換、確率・統計) から 5 題出題 |
| | | | (2) 電磁理論 (静電界、静磁界、時間的に変化する電磁界の基礎、電磁界中の荷電粒子の運動) から 2 題出題 |
| | | | (3) 電気電子回路 (線形回路の定常解析、線形回路の過渡解析、回路理論の諸定理、電子回路の基礎 (増幅回路、フィルタ回路)) から 2 題出題 |
| | | (注意) (2) 電磁理論及び (3) 電気電子回路から合計で 2 題選択 | |
| | | 専門科目 | (1) ~ (4) の内 2 科目以上 3 題を試験時に選択 (願書に記入不要) |
| | (1) 制御工学 (1 題出題) | | |
| | (2) 信号処理 (1 題出題) | | |
| | (3) 電磁気工学 (プラズマ中の電磁波・静電波、プラズマの生成・拡散) から 1 題出題 | | |
| | (4) 量子電子物性 (量子論基礎、金属、半導体物性、誘電体・磁性体、半導体デバイス) から 3 題出題 | | |
| | 情報通信工学 | 基礎科目 | (1) ~ (3) の () 内から 5 題を試験時に選択 (願書に記入不要) |
| | | | (1) 数学 (微積分、線形代数、微分方程式、複素関数論、フーリエ解析、ラプラス変換、確率・統計) から 5 題出題 |
| | | | (2) 電磁理論 (静電界、静磁界、時間的に変化する電磁界の基礎、電磁界中の荷電粒子の運動) から 2 題出題 |
| | | (3) 電気電子回路 (線形回路の定常解析、線形回路の過渡解析、回路理論の諸定理、電子回路の基礎 (増幅回路、フィルタ回路)) から 2 題出題 | |
| | | 専門科目 | (1) ~ (6) の内 3 題を試験時に選択 (願書に記入不要) |
| | | | (1) 通信ネットワーク (1 題出題) (4) 論理回路と計算機システム (1 題出題) |
| | (2) 情報理論 (1 題出題) (5) データ構造とアルゴリズム (1 題出題) | | |
| | (3) 信号処理 (1 題出題) (6) 情報セキュリティ (1 題出題) | | |
| 量子情報エレクトロニクス | 基礎科目 | (1) の () 内から 3 題、(2) 及び (3) の () 内から 2 題、合計 5 題を試験時に選択 (願書に記入不要) | |
| | | (1) 数学 (微積分、線形代数、微分方程式、複素関数論、フーリエ解析、ラプラス変換、確率・統計) から 5 題出題 | |
| | | (2) 電磁理論 (静電界、静磁界、時間的に変化する電磁界の基礎、電磁界中の荷電粒子の運動) から 2 題出題 | |
| | | (3) 電気電子回路 (線形回路の定常解析、線形回路の過渡解析、回路理論の諸定理、電子回路の基礎 (増幅回路、フィルタ回路)) から 2 題出題 | |
| | (注意) (2) 電磁理論及び (3) 電気電子回路から合計で 2 題選択 | | |
| | 専門科目 | (1) ~ (3) 3 科目 (合計 5 題) から 3 題を試験時に選択 (願書に記入不要) | |
| | | (1) 制御工学 (1 題出題) | |
| (2) 信号処理 (1 題出題) | | | |
| (3) 量子電子物性 (量子論基礎、金属、半導体物性、誘電体・磁性体、半導体デバイス) から 3 題出題 | | | |
| イノベーションデザインコースの志願者は、入学後に配属を希望する研究室が所属する電気工学・情報通信工学・量子情報エレクトロニクスコースのうちいずれかのコースの試験科目を受験してください。また、出願前に志望する研究室に連絡を取ってください。 | | | |

| 専攻 | コース | 試験科目 | |
|---|-----------|--|--|
| 環境エネルギー工学 | 環境工学 | 小論文 | 環境問題に対する認識、問題発掘能力、研究計画立案能力などを問う論述形式の出題を行う |
| | | 基礎科目 | (1) ~ (3) の内 1 科目を試験時に選択 (願書に記入不要) (1) 数学 (解析学、線形代数学、確率・統計) |
| | | | (2) 物理 (力学の基本法則、熱力学の基本法則、電磁気学の基本法則) |
| | | | (3) 化学 (物理化学の基礎、無機化学の基礎) |
| | 専門科目 | () 内から 2 題を試験時に選択 (願書に記入不要) 環境工学 (都市計画、土木建築情報学、水環境の科学と水質工学、大気科学、生態学、都市エネルギーシステム、環境システム) から 7 題出題 | |
| | エネルギー量子工学 | 基礎科目 | 数学 (解析学、線形代数学、確率・統計) より出題される 3 題から 2 題選択 (願書に記入不要) |
| 物理 (力学の基本法則、熱力学の基本法則、電磁気学の基本法則) より出題される 3 題から 2 題選択 (願書に記入不要) | | | |
| 化学 (物理化学の基礎、無機化学の基礎) より出題される 3 題から 2 題選択 (願書に記入不要) | | | |
| 地球総合工学 | 船舶海洋工学 | 数学 | 線形代数学、微積分学、微分方程式、フーリエ解析、ラプラス変換、複素関数論、確率・統計 |
| | | 力学 | 質点・質点系の力学、剛体の力学 |
| | | 材料力学 | 応力とひずみ、棒の伸縮、丸棒のねじり、はりの曲げ、座屈、二次元応力状態、エネルギー法 |
| | | 流体力学 | 非圧縮性流体の流れ (ポテンシャル流れ、粘性流れ) |
| | | ※ 筆記用具以外の携帯品 携帯用計算用具 (プログラム機能等を有しない電池式電卓) | |
| | 社会基盤工学 | 数学 | 微積分、線形代数、微分方程式、フーリエ解析、確率・統計 |
| | | 専門科目 | (1) ~ (4) の内 5 題を試験時に選択 (願書に記入不要) (1) 構造力学・コンクリート工学 (2 題出題) (2) 水理学 (2 題出題) (3) 土質力学 (2 題出題) (4) 土木計画学 (2 題出題) |
| | | | ※ 携帯用計算用具は必要に応じて貸与 |
| | 建築工学 | | (1) 構造力学 (2) 建築構造学 (各種構造、材料、振動) (3) 建築計画学 (4) 建築環境工学 (5) 建築設計製図 |
| | | | ※ 筆記用具以外の携帯品 (2) 建築構造学 (各種構造、材料、振動)、(3) 建築計画学、(4) 建築環境工学については携帯用計算用具 (プログラム機能等を有しない電池式電卓) (5) 建築設計製図の携帯品についてはホームページを参照 その他の注意事項についてはホームページを参照 |
| ビジネスエンジニアリング | | 基礎科目 | (1) ~ (4) の内 1 科目を選択し入学願書に記入 (1) 数学 (3) 化学 (2) 物理学 (4) 科学技術論基礎 |
| | | | 小論文 |
| | | 一般工学 | (1) ~ (6) の内 1 科目を選択し、入学願書に記入 (1) 材料力学 (4) 都市計画学 (2) 電気・電子工学 (5) 物性科学 (3) 金属・無機材料学 (6) 工業化学 |

《各種問合せ・請求先》

大阪大学工学研究科教務課入試係

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1

Tel : (06) 6879-7226 (ダイヤルイン)

E-mail : iso-staff@eng.osaka-u.ac.jp

<https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/>